

好きです地小 やっぱり好きです地頭方

2026 学校経営構想

地頭方小学校の学校経営方針 失敗ができる学校

1 経営理念

(1) 失敗を通じた学びの推進(子供が自分で考える)

新しいことに挑戦し、失敗を経験することを通して学びが深まります。授業だけでなく、様々な活動の中で、「自己選択」「自己決定」の場を意図的に与え、自ら考え自ら選び行動できるようにします。その中での失敗こそが成長の機会と捉えられる子供たちにします。

(2) 子供たちのよさが輝く(自分色を輝かせる)

優しさは地頭方小学校の子供が持っているよさです。子供が、お互い励まし合えるような、温かい人間関係の中で子供は自分の色を見つけていきます。

(3) 子供を支える生徒指導(発達支持的生徒指導)

教職員は、子供たちを支える生徒指導をします。子供たちの好奇心を引き出し、いろいろなことにチャレンジすることを奨励し、子供たちの成功も失敗も受け止め、子供たちの自信と意欲を引き出します。子供たちが安心して失敗し、そこから立ち直る力を身につけることを目指します。

2 全教育活動で育てていく資質・能力

【牧之原市が育みたい資質・能力】

「次代を切り拓く力」

【地頭方小学校が育てていく資質・能力】

「主体性」 → 自分で考え、行動する

「コミュニケーション力」 → いろいろな考えを持った「友達に自分の考えを伝える

「協働性」 → 友達と助け合い協力する

IV 学校教育目標 重点目標

1 【学校教育目標】 「思いやる」

「思いやる」とは…

- (1) 友達が失敗したり困っていたりする時に、本当にその友達の身になって考え、勇気づけてあげること。
- (2) 友達が間違っただけををしているとき、こうすべきではないかと自分の考えをはっきり主張し手本を示すこと。
- (3) 友達があきらめかけていたり、途方に暮れていたりにする時に、手を差し伸べて援助したり、寄り添うこと。

地頭方小学校の子供には、優しさがある。思いやりの姿もたくさん見ることができる。この学校教育目標は、令和5年度から牧之原市が推進する小中連携事業として、御前崎中学校の教育目標と統一したものである。

2 【重点目標】 「自分色で輝こう」

「自分色で輝こう」という目標は、すべての子供たちが自分の個性を大切に、それを活かして輝くことで、豊かな人生を築いてほしいという願いを込めている。学校は、ただ知識を学ぶだけの場ではなく、一人一人の持つ特別な「色」を見つけ、育て、表現する場である。「自分色」は、子供の興味・関心、得意なこと、夢や希望、そのすべてが混ざり合った子供が一人ひとりがもつ「個性」である。

教職員は、子供の「自分色」を最大限に引き出せるようなサポート(発達支持的生徒指導)を全力で行う。失敗も成功も共に分かち合い、成長を喜ぶ温かい学校にしていく。